

### 4月～6月（上旬）の各地区の催し

地区名	活動内容
世田米	4月 ウォーキング講座 出張ヨガレッスン スコップ三味線コンサート
	5月 さつまいもの畑準備・苗植え ウォーキング講座／役員会
	6月 ふれあい広場周辺の環境整備 通学路での挨拶運動・幟旗設置 ウォーキング講座 出張ヨガレッスン
大股	4月 買い物ツアー／総会
	5月 買い物ツアー／花壇整備
	6月 買い物ツアー／3B 体操教室
下有住	4月 乾麺の製造／総会
	5月 役員会
	6月 旧下有住小学校工程跡地利用に 関する検討会
上有住	5月 役員会・総会
	6月 チャレンジ部会
五葉	4月 役員会・総会
	5月 役員会
	6月 さつまいも植え・梅の木周辺整備
	みんなのつぶやき調査



世田米ウォーキング講座



大股地区公民館の花壇整備



# 「小さな拠点づくり」5地区の活動を伝える 五つ星ニュース

2023  
夏

特集  
.. 遊休農地・空き地を  
活用したプロジェクト（裏面）

表紙の絵：五葉地域の遊休農地活用の風景

### 各地区で総会が開催されました

新しい年度を迎え、小さな拠点づくりに取り組む5地区の地域協働組織では、総会が実施されました。新型コロナウイルス対策のため、この3年間は書面議決での総会の開催が続いていましたが、今年は、どの地区も対面での開催となりました。

各地区とも、これまでの活動を絶やさぬよう継続していくことが承認されました。さらに、コロナ対策で縮小・中止してきた行事の再開や、事務局からの新しいチャレンジへの提案についても承認され、今年度は各地区とも活動が活発になっていきそうです。そのための体制作りについても議論されました。

また、新たに役員になった方々も加入し、地域づくりに新しい風が吹くことを期待しています。



夢がかがやく上有住の総会



下有住いきいき活動協議会の総会



## ちよこつとエピソード ありがとう八兆屋

スマイル大股では、買い物ツアーを毎月実施し、町内の商業施設や商店街などを利用しています。その一つ、世田米バイパスにある八兆屋が令和4年12月末で閉店になるとのことで、ツアー利用者から地域の食生活を支えてくれた感謝の手紙が渡されました。このときは、いつもより多めに買い物をしたそうです。

スマイル大股より



住田町「小さな拠点づくり」の活動を伝える 五つ星ニュース  
第2号 2023年6月 発行

【発行】

一般社団法人邑サポート  
住田町世田米字本町 22-5  
TEL 070-2021-6142

【編集協力】

住田町教育委員会  
住田町世田米字川向 88-1  
TEL 0192-46-3863

## 特集

# 遊休農地・空き地を活用したプロジェクト

小さな拠点づくりでは、遊休農地や空き地などを活用したプロジェクトに取り組む地区があります。作物や樹木を植えて収穫を目指すだけでなく、その過程を通じて住民同士の交流も大事にしています。

また、遊休農地や空き地は放っておくと獣の通り道となったり、景観を損ねたりすることから、コミュニティの手を入れることで、こざっぱりとした風景になることも期待されています。

## 交流を育む風景づくり【下有住いきいき活動協議会】

### (1) 松日橋周辺整備

気仙川に架かる一本橋「松日橋」の周辺の空き地を整備し、桜並木を植え、地域の観光名所にしようという取り組みが進められています。地区民の参加のもと、平成29年に、ソメイヨシノと枝垂れ桜の苗を植えて、今年は花をつけるようになりました。地域の有志の方々が下草刈りを毎年実施し、こざっぱりとした景観を保っています。将来は、この場所が下有住の桜の名所となることと思います。



松日橋の夢、桜の名所



植樹から6年後の桜の木々

### (2) そばの栽培

下有住いきいき活動協議会では、平成26年度より、遊休農地に蕎麦を栽培する取り組みを続けています。みんなで種まきをしたり、収穫した蕎麦を使って蕎麦打ち交流会を開催するなど、地域の方々のコミュニケーションの場にもなっています。また、水沢農業高校の生徒との交流が生まれたり、蕎麦栽培を目指す日頃市地区の方々に種を分けたりと、町外との交流も生まれています。収穫した蕎麦は、粉にするだけでなく、乾麺に加工され、住田町の新たな土産品としても喜ばれています。



昨年の種から乾麺を製造販売中



種まきに参加する小学生、高校生、地域住民

## みんなで植えて五葉の大切な場所に【五葉地域づくり委員会】

### (1) さつまいも栽培

五葉地域づくり委員会では、遊休農地にさつまいもを植えて、収穫後はジャムに加工する特産品作りを進めています。昨年は植えてから1週間後に鹿の食害に遭い、残念ながら収穫はできませんでした。今年は、地区公民館に隣接する遊休農地にさつまいもの苗を300本植え、鹿対策も実施しました。今年の秋には収穫祭が企画されています。



子供たちも一緒に苗植え



シルクスイート、紅あずま、紅はるかを植えた

### (2) 梅の木の植樹

地区公民館に隣接する遊休農地には、梅の木が植樹されています。まだ小さな苗木ですが、実をつけるようになれば、これも特産品にしようという夢があります。梅の苗の生育のために下草刈りを行っていますが、年々、作業を手伝ってくれる人が増え、今年は25人での作業となりました。もともとは荒れていた農地でしたが、「地域のために使ってくれるなら」と地主さんの承諾もあり、地区の方々が自分たちの公園のように管理している光景は、五葉の宝のように思います。



この日は総勢25人が下草刈りに参加



まだ小さな梅の苗

## 自然のめぐみを体験しよう！

【せたまいいきいきづくり】

### さつまいも栽培

せたまいいきいきづくりでは、自分たちが植えた作物が育ち、収穫する喜びを子供達に体験してほしいとの願いから、さつまいもの農業体験のプロジェクトが進められています。農業の紺野敏郎さんらが畝作りの準備をし、当日は役員の方々や子供たちが参加しました。前日にyoutubeで予習してきたという方や、苗植えに便利な道具を持参した方などいて、順調に作業が進みました。今後は、10月の収穫祭や12月の焼き芋会など、自然の恵みを体験する催しが計画されています。



地域の大人が先生役となりました



世田米小学校のすぐ近くの畑を活用



植えられたさつまいもの苗